



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月27日

上場会社名 株式会社 ウェッズ

上場取引所 東

コード番号 7551 URL <http://www.weds.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲妻 範彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理部長 (氏名) 中尾 宏平

TEL 03-5753-8201

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

2022年12月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	15,646	11.8	670	79.4	811	115.5	456	100.8
2022年3月期第2四半期	13,998	12.0	373	98.1	376	64.6	227	101.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 599百万円 (228.7%) 2022年3月期第2四半期 182百万円 (177.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	28.49	
2022年3月期第2四半期	14.19	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	23,849	15,635	59.8	888.88
2022年3月期	22,482	15,227	61.6	864.12

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 14,255百万円 2022年3月期 13,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		10.00		10.00	20.00
2023年3月期		10.00			
2023年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	5.0	1,530	0.6	1,535	0.8	890	3.1	55.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	16,118,166 株	2022年3月期	16,118,166 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	80,039 株	2022年3月期	80,039 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	16,038,127 株	2022年3月期2Q	16,038,133 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、7、8月の新型コロナウイルス感染症拡大時には個人消費等に陰りも見えましたが、期間を通じ、設備投資、輸出等含め全体として緩やかに回復しました。一方で半導体不足等による自動車の生産調整、急激な円安進行に伴う物価や企業活動への影響、また中国のロックダウンやウクライナ情勢の長期化など先行きは依然不透明な状況にあります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、自動車関連卸売事業では特に主力のアルミホイール中心に販売増となり、また他の主要事業でも売上を伸ばしたことにより、15,646百万円（前年同期比11.8%の増収）と1,647百万円の増収となりました。また営業利益は、670百万円（前年同期比79.4%の増益）、経常利益は811百万円（前年同期比115.5%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、456百万円（前年同期比100.8%の増益）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

（セグメント別の概況）

（単位：百万円）

		自動車関連卸売事業	物流事業	自動車関連小売事業	福祉事業	その他	調整額	連結
売上高	当第2四半期連結累計期間	10,911	3,484	1,255	259	347	△611	15,646
	前第2四半期連結累計期間	9,727	3,044	1,085	215	548	△621	13,998
セグメント利益又は損失(△)	当第2四半期連結累計期間	487	91	53	36	1	△0	670
	前第2四半期連結累計期間	279	57	12	10	14	△0	373

（自動車関連卸売事業）

自動車関連卸売事業の売上高は、10,911百万円となり前年同期比1,183百万円（12.2%）の増収となりました。これは、主力のアルミホイールを中心に販売が増加したことによるものです。セグメント利益につきましても、アルミホイールの売上増等により、487百万円となり前年同期比208百万円（74.5%）の増益となりました。

（物流事業）

物流事業の売上高は、倉庫売上など既存顧客との取引増加に加え新規取引等により、3,484百万円となり前年同期比440百万円（14.5%）の増収となりました。セグメント利益につきましてもは91百万円と、前年同期比33百万円（58.8%）の増益となりました。

（自動車関連小売事業）

自動車関連小売事業の売上高は、ジェームス各店でのタイヤはじめ自動車用品の販売増、また通販も増加し、1,255百万円となり前年同期比170百万円（15.7%）の増収となりました。セグメント利益は53百万円となり、前年同期比41百万円（346.1%）の増益となりました。

（福祉事業）

福祉事業の売上高は、訪問介護や通所介護等、既存事業の収入増に加え、昨年12月立上げの訪問看護事業により259百万円となり前年同期比44百万円（20.5%）の増収となりました。セグメント利益は36百万円となり、前年同期比26百万円（257.1%）の増益となりました。

（その他）

携帯電話代理店事業の売上高は、販売台数の減少に加え、前連結会計年度に1店舗譲渡し4店舗体制となったこと等により306百万円となり前年同期比201百万円（△39.6%）の減収、賃貸事業の売上高は40百万円となり前年同期と同額で、合わせて347百万円となり前年同期比201百万円（△36.7%）の減収となりました。セグメント利益は、携帯電話代理店事業では経費は減少するも、売上減によりセグメント損失は25百万円と前年同期比13百万円損失が悪化しました。また、賃貸事業は26百万円のセグメント利益で前年とほぼ同額、合わせて1百万円のセグメント利益となり、前年同期比13百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間における総資産額は23,849百万円となり、前期末に比べて1,366百万円の増加となりました。主たる要因は、冬季商材調達に向け現金預金が減少する一方で商品と前渡金が増加、また売掛債権が増加したこと等によるものです。

負債総額は8,213百万円となり、前期末に比べて958百万円の増加となりました。主たる要因は、未払法人税減少等があるものの冬季商戦に向けた仕入増加などに伴う買掛債務の増加によるものです。

純資産は15,635百万円となり、前期末に比べて408百万円の増加となりました。主たる要因は、利益剰余金及び繰延ヘッジ損益の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、新車の生産調整の動向、円安の進行やウクライナ情勢など先行きの事業環境が損益に与える影響が不透明なため2022年5月13日に公表した業績予想を据え置いております。

今後の業績等を踏まえ、修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,997,998	3,270,829
受取手形及び売掛金	3,974,287	4,731,217
電子記録債権	185,593	173,103
商品	3,124,500	5,155,954
仕掛品	221,183	224,288
原材料及び貯蔵品	77,185	85,456
デリバティブ債権	349,891	490,737
前渡金	281,579	685,698
その他	442,178	416,223
貸倒引当金	△426	△647
流動資産合計	13,653,972	15,232,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,964,790	7,729,722
減価償却累計額	△4,452,895	△4,409,027
建物及び構築物(純額)	3,511,895	3,320,694
土地	3,357,656	3,357,656
その他	1,476,902	1,474,504
減価償却累計額	△1,191,643	△1,215,415
その他(純額)	285,258	259,089
有形固定資産合計	7,154,810	6,937,440
無形固定資産		
のれん	85,352	76,180
その他	65,108	66,794
無形固定資産合計	150,461	142,974
投資その他の資産		
投資有価証券	454,633	451,622
繰延税金資産	403,909	411,292
退職給付に係る資産	70,876	70,534
長期未収入金	116,217	60,580
その他	598,929	607,639
貸倒引当金	△120,857	△65,100
投資その他の資産合計	1,523,708	1,536,568
固定資産合計	8,828,979	8,616,983
資産合計	22,482,952	23,849,845

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,800,501	4,045,889
短期借入金	245,440	243,440
未払法人税等	430,954	306,120
賞与引当金	216,039	289,165
役員賞与引当金	61,300	30,090
その他	910,070	791,298
流動負債合計	4,664,305	5,706,004
固定負債		
長期借入金	1,588,560	1,521,840
繰延税金負債	5,240	—
修繕引当金	70,960	73,960
退職給付に係る負債	226,965	239,988
役員退職慰労引当金	146,475	126,282
資産除去債務	199,714	200,486
その他	353,297	345,305
固定負債合計	2,591,213	2,507,864
負債合計	7,255,519	8,213,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	852,750	852,750
資本剰余金	845,913	845,913
利益剰余金	11,754,177	12,050,744
自己株式	△47,781	△47,781
株主資本合計	13,405,059	13,701,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	178,543	175,881
繰延ヘッジ損益	242,754	340,473
為替換算調整勘定	32,492	38,004
その他の包括利益累計額合計	453,790	554,360
非支配株主持分	1,368,583	1,379,990
純資産合計	15,227,433	15,635,976
負債純資産合計	22,482,952	23,849,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	13,998,831	15,646,739
売上原価	11,183,464	12,414,730
売上総利益	2,815,366	3,232,008
販売費及び一般管理費	2,441,650	2,561,744
営業利益	373,716	670,264
営業外収益		
受取利息	136	199
受取配当金	8,941	5,359
為替差益	2,975	—
保険解約返戻金	471	49,674
受取補償金	—	27,064
貸倒引当金戻入額	—	56,919
その他	13,053	14,791
営業外収益合計	25,578	154,008
営業外費用		
支払利息	3,044	2,750
固定資産除却損	15,173	0
為替差損	—	6,157
その他	4,251	3,489
営業外費用合計	22,469	12,398
経常利益	376,825	811,874
特別損失		
減損損失	—	70,384
特別損失合計	—	70,384
税金等調整前四半期純利益	376,825	741,490
法人税、住民税及び事業税	164,737	297,128
法人税等調整額	△27,723	△54,696
法人税等合計	137,014	242,431
四半期純利益	239,811	499,058
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,276	42,110
親会社株主に帰属する四半期純利益	227,534	456,948

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	239,811	499,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,649	△2,704
繰延ヘッジ損益	△94,456	97,718
為替換算調整勘定	2,427	5,512
その他の包括利益合計	△57,379	100,527
四半期包括利益	182,432	599,585
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,040	557,517
非支配株主に係る四半期包括利益	12,392	42,068

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,501,615	2,648,788	1,085,091	215,094	13,450,590	548,241	13,998,831	—	13,998,831
セグメント間の内部売上高又は振替高	226,021	395,227	408	—	621,658	—	621,658	△621,658	—
計	9,727,637	3,044,016	1,085,500	215,094	14,072,248	548,241	14,620,489	△621,658	13,998,831
セグメント利益	279,087	57,852	12,039	10,136	359,116	14,666	373,782	△66	373,716

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額△66千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,689,476	3,098,457	1,252,537	259,260	15,299,733	347,006	15,646,739	—	15,646,739
セグメント間の内部売上高又は振替高	222,089	386,392	3,229	—	611,710	—	611,710	△611,710	—
計	10,911,566	3,484,849	1,255,767	259,260	15,911,443	347,006	16,258,449	△611,710	15,646,739
セグメント利益	487,139	91,846	53,704	36,202	668,893	1,393	670,287	△22	670,264

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額△22千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

携帯電話代理店事業において、事業用資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の当第2四半期連結累計期間における計上額は70,384千円であります。